

「令和6年度 第3回 地下水マネジメント研究会」の開催（R6.10.10）

- 「地下水マネジメント推進プラットフォーム」の活動の一環として、地盤沈下防止等対策要綱に携わる地方公共団体担当者を対象に「地下水観測の効率化」をテーマに開催。
- 「河川危機管理型水位計の地下水位観測への活用に向けた実証実験の説明・現地視察」、「産業技術総合研究所からの地下水マネジメントに関する講義」等の実施により地下水マネジメントに関する幅広い知見を提供。

I 開催概要

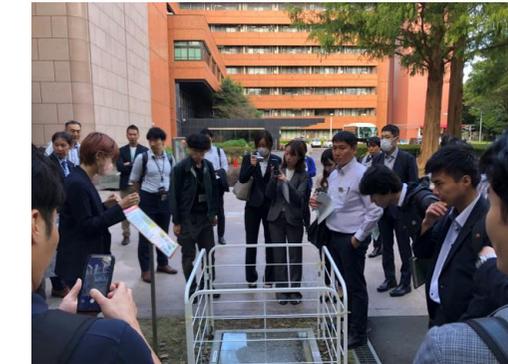
1. 日 時 : 令和6年10月10日（木）13時～16時
2. 方 法 : 現地開催（茨城県つくば市）
3. 主 催 : 内閣官房水循環政策本部事務局
(水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課)
4. 内容
 - ・ 河川危機管理型水位計の実証実験の説明・現地視察
 - ・ 地下水位の手計観測、機器、データ回収の現地視察
 - ・ 産業技術総合研究所による「地下水マネジメント」に関する講義
 - ・ 意見交換
5. 参加者 : 25名
地盤沈下防止等対策要綱地域 地方公共団体 担当者
(茨城県、埼玉県、千葉県、愛知県、三重県、名古屋市、福岡県、佐賀県)
水循環アドバイザー (熊本県、安曇野市)
産業技術総合研究所
環境省、国土交通省



河川危機管理型水位計の実証実験の説明・現地視察



産業技術総合研究所による地下水マネジメントに関する講義



II 参加者からの感想

- ・ 実際の地下水位観測の現場を視察したことにより、今後、具体的な現場のイメージを持って業務を進めることができると感じた。
- ・ 河川危機管理型水位計の地下水位観測の活用は、今後の地下水位観測の効率化に向けた有用な手段であり、業務で管理を担当する観測井において導入を検討したい。
- ・ 「地下水マネジメント」に関する講義では、入門的な内容から分かりやすく説明いただき、地下水に関する理解が深まった。